



いおぎ
だより

令和6年11月号

杉並区立井荻小学校

令和6年10月31日発行 No.688

安心と居場所のある学校に…

校長 田中 裕次

虫の声に秋を感じる頃となりました。学校では子どもたちの歌声が響き渡っています。音楽会に向かって一人一人が心を込めて取り組んでいます。必ず歌声や演奏に表れることでしょう。当日を楽しみにしてください。たくさんのご参観をお待ちしております。

さて標題にあげました『安心で居場所のある学校』作りは私が校長として掲げている最重要課題です。安心で居場所のある学級で、自分らしさを表現できる、困り感や困難なことも友だちと支え合って乗り越えていく…井荻小学校をそんな場所にしたいと願い学校運営を進めています。

先日の学校運営協議会(CS)アンケートの御協力ありがとうございました。肯定的なご意見をいただく一方で厳しい御指摘も頂戴しております。「現状学校側は手のかかることを避けて取り組んでいるように思う。」この言葉は胸に刺さりました。また校長室である方と話す機会がありました。「どの子ども伸びて学び合う学校を掲げていますが、みんなが学びやすい環境、学び方、生活様式は自分の子には整っていないと思います。」というお声もいただきました。自分の力のなさを痛感しております。児童アンケートでは9割の子どもたちが学校は楽しい、8割の子どもたちが井荻小を好きと回答していました。これは嬉しいことで日頃教職員が力を合わせて頑張っていることに加え、保護者、地域の方々の温かい御協力があったのことと心より感謝申し上げます。注視しなければならないのは、1～2割の子どもたちが嫌いで楽しくないということです。

今の世の中は一人一人の個を尊重し、様々な価

値観を共有する多様性社会、多様性の時代とされています。障がいのある人や高齢者の雇用、女性の活躍促進、性的マイノリティなど社会を取り巻く多様性に関わる課題への取組は世界中で推進されています。

学校教育でも多様性(ダイバーシティ)という言葉がよく耳にするようになりました。そもそも子どもたちは一人一人個性をもってみんな違います。勉強が得意な子どもいれば苦手な子ども、運動が得意な子どもいれば苦手な子ども、集中が長く続く子どもいればそうでない子ども、周りのことがよくわかる子どもいれば、自分のことで頭がいっぱいな子ども…。そこには思いのぶつかり合いが生まれトラブルになることも多々あります。学級をまとめていく教職員はそれに追われることもしばしばあります。

多様性を受けとめる心を育むために大切なことの1つは『ちがいを受け入れる』ことです。ちがいを受け入れる力を育むには周囲の環境が重要です。認め合える人間関係を醸成していかなければなりません。学校での重要な担い手が「先生」です。一斉指導、きまりやルールに縛られた空間では、できる子とできない子を作り、できる子がいい子、できない子は注意される子という構図ができあがります。私たち教職員が効率的、画一的な思考から脱却し、人と人とのつながりを生み出す声かけ、活動を重視し、認め合う人間関係を築いた先に『安心で居場所のある学校』があります。私たち自身の研修を定期的・継続的に積み重ね、指導の在り方の改善や子どもを見とるアンテナ感度を高めていきます。子どもたちの現状や学校の思いに御理解をいただきながら、これからも温かい目で共にたくましい井荻っ子を育てていきたいと願っています。

11 月行事予定

1	金	たてわり班活動 小児生活習慣病予防検診 (5年)	
2	土	土曜クラブ (囲碁・マナーキッズテニス)	
3	日	文化の日	
4	月	振替休日	
5	火	安全指導 5時間授業 (1~4年) 委員会活動	SC
6	水		
7	木	音楽会リハーサル (1~5年) 4時間授業 (6年) 5時間授業	
8	金	音楽会児童鑑賞日	
9	土	音楽会保護者鑑賞日	
10	日		
11	月	振替休業日	
12	火	情報モラル	SC
13	水	読み聞かせ 避難訓練	
14	木	実験・ものづくり教室 (5年)	
15	金	ネイチャーゲーム (1年)	
16	土	土曜クラブ (囲碁・チャレンジキッズ (ソーラークッキング))	
17	日		
18	月	全校朝会 長なわタイム始 クラブ活動	
19	火		SC
20	水	秋の歯科検診 4時間授業	
21	木	下水道の学習 (4年) 園芸・美化委員会集会	
22	金		
23	土	勤労感謝の日	
24	日		
25	月	全校朝会 5時間授業	
26	火	豆腐作り (3年)	SC
27	水		
28	木	防災館見学 (4年) 長なわタイム終	
29	金	いおぎまつり CS (学校運営協議会) 9:30~	
30	土	土曜クラブ (お箏・いけばな)	

CS…学校運営協議会

SC…スクールカウンセラー来校日

11月の生活目標

「ことばを大切にしましょう」

生活指導部 小澤 拓哉

『その一言』 高橋 系吾

その一言で励まされ その一言で夢をもち
その一言で腹がたち その一言でがっかりし
その一言で泣かされる
ほんのわずかな一言が 不思議に大きな力持つ
ほんの一寸の一言で

この詩は、高橋系吾さんという方の詩です。短い詩の中に、ほんのちよつとの一言が、いかに大事なのかをよく表していると思います。この言葉を使ったら、相手がどんな気持ちになるのか、悲しくなるのか、うれしく元気になるのかを考えて言葉を使うことが大切なことです。普段使っている何気ない短い言葉は、相手を励ましたり、逆に悲しませたりしてしまうものです。子どもたちにはちよつとした言葉や、短い言葉でも、とても大切なのだということを改めて考えてもらいたいと思います。

11月の生活目標は、「ことばを大切にしましょう」です。集団生活の場である学校では、多くの人と関わりながら生活をしていきます。言葉の大切さについて改めて考えさせ、よりよい学校生活を送れるよう、見守っていきます。

学校運営協議会 (通称CS コミュニティスクールの略)

学校運営協議会は、原則公開制となっています。ただし議題の内容により、一部のみ公開とする場合もございますので、傍聴をご希望の場合は事前に傍聴希望の旨をお知らせください。

【連絡先：副校長 佐々木 3390-3141】



マスコットキャラクター
イオギン